

きくち伸英 議会報告

県議会に席を置かせていただき早いもので4年が過ぎようとしています。

平成27年度の当初予算は一般会計、特別会計、企業会計の合計で約8,322億円となり最大規模の予算とはなりますが、これは国の社会保障と税の一体改革により、交付金の分が増加するためであり、それを省くと前年比0.4パーセント増となります。

東日本大震災や広島市での土砂災害を受け、我々は大災害危機管理体制の必要性を十分に学び、これらの学びを真の防災活動に活かすため警察、消防、自衛隊の連携を強化した治安・防災・災害対応を目指す必要を十分に感じております。愛媛県におきましては南海トラフ巨大地震等に備えたハード、ソフト両面にわたる防災・減災対策に取り組まなければなりません。また今後はエボラ出血熱等に対応できる第一種感染症指定医療機関の整備を図っていくことも喫緊の課題であり、救急医療の充実に向けたドクターヘリの導入も検討を進めます。

来年度は交通ネットワークの形成、JR松山駅鉄道高架事業の推進など取り組むべき課題も山積しておりますが、極めて厳しい財政事情の中において国や地方を支えていくためには行政事業の見極めと既成概念を超える発想と行動力が求められていると考えます。

きくち伸英は、県民主体の愛媛を目指し、みなさまの声を議会に届け続けますので、県政に関するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

どうか今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

菊池伸英

